

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 5 年 4 月 7 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスさくらんぼ八戸

保護者等数 13（児童数） 15 回収数 13 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12			1	ひろく、体を動かすスペースがあり、子供が喜んでいます。	広いことで集中できないときはパーテーションなどを活用し、個別のスペースを作るなど対応をしている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1		1	先生の誰がどの資格を持たれているのかわからない。	児童発達支援管理責任者、保育士、理学療法士など基準以上の職員を配置している。わかりやすいように名札に資格を記載する。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13				手すりなどは見たことがないが、全体的に段差もなく、バリアフリーな施設だと思う。	怪我などが考えられる箇所にはコーナーガードなどを使って保護をするなどの対策をしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13				いろいろなおもちゃなどがあって楽しそうにしている。	片付けなどがしやすく、またどこに度のおもちゃがあるのわかりやすいようにおもちゃの写真を掲示するなどしている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12	1			一人一人に計画書を作ってもらっている。	契約時に聞き取りを行い、より詳しい状況の把握を行う為、フェイス・アセスメントシートを記入していただき、保護者ニーズや利用児童の分析に努めています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			2	細かく支援計画を作ってもらっていると思うが、ガイドラインを知らないため、どうかわからない。	職員や外部の方が見やすいようにガイドラインを提示しておくように対応した。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12			1	実際の支援がどうか分からないが、行われていると思う。	計画は職員間で共有して支援を行っている。

保護者への説明等	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	13				季節感にあった活動はしてもらっている。外出先なども豊富に行っている様子。	各種イベントなど、コロナ開けが近いこともあり情報収集と実施に努めていく。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7		1	5	知る限りの交流はないようだが、出先の公園などでのやり取りはあるのではないか。	公園などで、障害のない児童と一緒に遊ぶなどの活動はできている。今後も継続していく。	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					契約時に説明してもらった。	利用児童、保護者に説明し、同意を得て契約をしている。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13					ガイドラインを知らないが、計画書は作成してもらい、説明してもらっている。	ガイドラインを見やすいようにファイリングし、配置している。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	7				6	相談したらアドバイスはもらえるが、トレーニングはないと思う。	今後検討していきたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12		1			送迎時に職員と話したり、連絡帳を読んだりしている。またLINEで状況説明や相談にも乗ってもらっている。	今後も継続していく。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10		1		2	送迎時やLINEで相談するとアドバイスはしてもらっているが、面談などはない。	希望されれば、面談などを行えるように努めていく。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3			3	7	今後は、そういった活動もしてほしい。	今後検討していきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12				1	相談すると親身に相談に乗ってくれ、アドバイスももらえる。	相談内容はすべて職員間で共有しており、今後も継続していく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					配慮はしてもらっていると思う。	今後も継続していく。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13					インスタグラムやホームページで様子がわかる。他教室に比べて頻度が少ないようにも感じる。	継続していく、またより伝わりやすく楽しい雰囲気を出せるように努めていく。

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13				されていると思う。	今後も継続していく。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10			3	マニュアルを見たことはないが、作成していると責任者から説明もしてもらった。訓練はわからない。	誰でも見ることができるように、ファイリングを行い配置している。 訓練はしているが、訓練としてではなくお散歩と同義の活動として行っている。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5		1	7	しているのかわからない。	訓練という名目では行わず、避難場所まで日ごろからお散歩として行っている。今後も同様に行っていく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	13				毎回とても楽しみにしている。	ありがとうございます。
	23	事業所の支援に満足しているか	13				満足している。	固定化せずに、楽しめるよう努めていく。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。